

千葉県保健医療計画などと整合を図り、令和6年度医療介護総合確保計画の目標における評価指標を下記のとおり設定する。

全体目標	各目標における評価指標	現状値 直近数値	目標値 (R6年度以降)	全体目標	各目標における評価指標	現状値 直近数値	目標値 (R5年度以降)
目標① 医療機関の役割分担の促進	自分が住み慣れた地域で安心して受診できる医療体制にあると感じている県民の割合	62.7% (R5年度)	70.0% (R6年度)	目標④ 地域医療の格差解消	新生児死亡率	0.8 (R4年)	0.8 (R6年)
	がんによる75歳未満年齢調整死亡率(人口10万対)	66.4% (R3年度)	減少 (R6年度)		地域で小児救急に携わる初期医療機関の数	684箇所 (R5.4)	684箇所 (R6.4)
	地域の歯科医院と連携してがん患者の口腔ケアを行う医療機関数	12箇所 (R6.1)	13箇所 (R6年度)		小児救急拠点病院への小児患者受入れ数	17,387人 (R5年度)	現状維持
	心肺停止状態で見つかった者の1ヵ月後の生存率	17.7% (R元年)	20.0% (R8年)		小児二次救急医療機関数	27施設 (令和5.4)	現状維持 (令和6年度)
	県内における病床の機能分化の促進(令和7年における医療機能別の必要病床数に対する定量的基準に基づく医療機能別の病床数の不足:令和7年度に全機能10%以内)	①高度急性期:23.0% ②急性期:▲3.4% ③回復期:▲21.1% ④慢性期:▲1.5% (令和5年度病床機能報告の定量的基準による推計値と必要病床数とを比較)	全機能10%以内 (R7年度)		電話相談により削減できた夜間小児救急の受診件数	39,524件 (令和5年度)	43,000件 (令和6年度)
令和6年度基金を活用して再編を行う医療機関及び病床機能毎の病床数	3医療機関 急性期病床 51床 慢性期病床 114床 (R5年度)	3医療機関 急性期病床 22床 慢性期病床 94床 (R6年度)	肺結核患者の治療失敗・脱落率	1.99 (R5年)	現状維持 (R6年)		
目標② 地域包括ケアの推進	介護が必要になっても自宅や地域で暮らし続けられると感じる県民の割合	28.4% (令和5年度)	50.0% (令和6年度)	目標⑤ 勤務医の働き方改革の推進	医師労働時間短縮計画に定める時間外・休日労働時間数の目標(最長・960時間超人数)を達成した事業実施医療機関の割合	—	100% (R6年度)
	「地域リハビリテーション研修プログラム修了者」が在籍する「ちば地域リハ・パートナー」登録機関数	0箇所	20箇所 (R6年度)	目標⑥ 介護施設等の整備促進	介護が必要になっても自宅や地域で暮らし続けられると感じる県民の割合	28.4% (令和5年度)	50.0% (令和6年度)
	在宅患者訪問診療実施診療所数・病院数	769か所 (R5年度)	771か所 (R6年度)		広域型特別養護老人ホーム	28,807床 (R5年度)	30,015床 (R6年度)
	在宅療養支援歯科診療所数	318箇所 (R6.3)	330箇所 (R6年度)		地域密着型特別養護老人ホーム	2,019床 (R5年度)	2,106床 (R6年度)
	障害児(者)歯科治療一次受け入れ協力歯科診療所の増加(千葉県歯科医師会)	43施設 (R5年度)	47施設 (R6年度)		介護老人保健施設	15,362床 (R5年度)	15,224床 (R6年度)
	居宅訪問型児童発達支援事業所数	13事業所 (R5年度)	16事業所 (R6年度)		定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所	63箇所 (R5年度)	67箇所 (R6年度)
	居宅療養管理指導実施薬局数(介護予防居宅療養管理指導含む)	1,314箇所 (令和4年)	1,370箇所 (令和6年)		認知症対応型デイサービスセンター	83箇所 (R5年度)	84箇所 (R6年度)
	かかりつけ薬剤師・薬局の定着度	49.6% (令和5年度)	52.0% (令和6年度)		認知症高齢者グループホーム	7,940床 (R5年度)	8,154床 (R6年度)
	入退院支援を実施している診療所数・病院数	149か所 (R5年度)	156か所 (R6年度)		小規模多機能型居宅介護事業所	152箇所 (R5年度)	152箇所 (R6年度)
	業務継続計画(BCP)を策定している機能強化型在宅療養支援病棟の割合	18.5% (R5年度)	46% (R6年度)		看護小規模多機能型居宅介護事業所	42箇所 (R5年度)	47箇所 (R6年度)
目標③ 医療従事者の確保・定着	医師数	13,097人 (R4.12)	13,501人 (R6.12)		目標⑦ 介護従事者の確保・定着	介護職員数	88,960人 (R4年度)
	医師数(人口10万人対)	209.0人 (R4.12)	215.6人 (R6.12)	介護職員の離職率		14.2% (R5年度)	14.3%以下 (令和6年度)
	県内専攻医採用数	410人 (R6年度研修開始者)	増加 (R7年度研修開始者)	チームオレンジ設置市町村数		17市町村 (R4年度)	32市町村 (令和6年度)
	女性医師等就労支援事業に取り組み、支援対象医師が育児と仕事の両立を達成することができた施設の割合	—	100% (R6年度)	初期集中支援チームが整備されている市町村数		54市町村 (R5年度)	54市町村 (令和6年度)
	就業歯科衛生士数(人口10万人対)の増加	94.7人 (R4年度)	103.0人 (R6年度)	市民後見人の選任数の増加		14名 (令和元年度)	増加
	看護師等学校養成所卒業生の県内就業率	62.8% (令和6年3月卒業生)	66.2% (令和7年3月卒業生)	認知症サポート医認定数		635人 (R5年度)	660人 (令和6年度)
	新人看護職員の離職率	11.4% (R4年度)	8.5% (R6年度)	かかりつけ医認知症対応力向上研修修了者		1,515人 (R5年度)	1,630人 (令和6年度)
	県内で就業している特定行為研修を修了した看護師数(累計)	235名 (R4年)	425名 (R6年)	病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修受講者		4,810人 (R5年度)	5,380人 (令和6年度)
	看護職員数	62,016人 (R4.12)	64,000人 (R6年)	研修受講者数(新任者研修)(医療と介護の地域支援体制強化事業(人づくり))		60人 (R5年度)	増加 (R6年度)
	看護職員の再就業者数(県のナースセンター事業によるもの)	45名 (R5年度)	120名 (R6年度)	研修受講者数(現任者研修)(医療と介護の地域支援体制強化事業(人づくり))		22人 (R5年度)	増加 (R6年度)
	看護職員の離職率	13.6% (R4年度)	11.1% (R6年度)	研修会への参加者数(認知症専門職における多職種協働研修事業)		104人 (R5年度)	160人 (令和6年度)
	タスク・シフト/シェアの促進(医師事務作業補助体制加算の施設基準に適合しているものとして厚生局に届け出ている施設数)	116病院 (令和5年度)	増加 (令和6年度)	実務従事者対象の専門研修(法定研修)の受講者アンケートにおいて各項目で「十分に習得できた」「理解できた」と回答する者が75%以上(介護支援専門員専門研修(法定研修))		専門研修 I 74.8% 専門研修 II 83.7% 主任介護支援専門員研修 83.0% 主任介護支援専門員更新研修 96.4%	各研修75%以上 (令和6年度)
	病院の薬剤師数(人口10万人対)	41.4人 (令和4年)	42.5人 (令和6年)	研修参加者へのアンケートにおいて、学びたい事をどれくらい習得できたか:「十分に習得できた」、「一定程度習得できた」と回答した者の割合(介護支援専門員地域同行型研修)		アドバイザー 88% 受講者 95%	アドバイザー:85%以上 受講者:85%以上 (令和6年度)
	支援対象病院(有床診療所)に勤務(※)し、栄養を管理する職務に携わっている職員数(栄養サポートチームの栄養士、調理師、医師、看護師等)の維持 ※派遣職員、委託人数含む。	令和5年度末時点 3,565人 (R6.10.7現在、276施設の集計結果)	令和5年度末時点の人数を維持する	地域密着型サービス登録事業者数		746	増加 (R6年度)
目標④ 地域医療の格差解消	地域A群医療機関が所在する医療圏(香取海匠、山武長生、夷隅、安房、君津、市原)の医療施設従事医師数の増加	2,743人 (R4.12)	2,772人 (R6.12)	訪問看護ステーション看護職従事者数(介護サービス施設・事業所調査)	3,765人 (R4年)	4,459人 (R6年)	
	分娩千件当たり医療施設従事医師数(産科・産婦人科)	11.5人 (R4.12)	増加 (R6.12)	教育用訪問看護ステーション数(事業実施事業者数)	2事業者 (R5年度)	2事業者 (R6年度)	
	医療施設従事医師数(小児科)(15歳未満人口10万対)	92.3 (R4.12)	95.4 (R6.12)				